

# 生物多様性の指標

Index of biodiversity



- (1) オオタカが4年連続して繁殖
- (2) モリアオガエル(22年前に移植)が安定して生息
- (3) アブラゼミが大半を占め、クマゼミは3位
- (4) 森林性の野鳥が増加・繁殖
- (5) 森林性のチョウ類の増加
- (6) 幼虫期の長いトンボの増加

## (1) オオタカが繁殖(100804 朝日)

### 万博オオタカ 大空へ



大阪府吹田市の万博記念公園で、今年誕生したオオタカのひな1羽が巣立った。公園を運営する独立行政法人・日本万国博覧会記念機構が3日、発表した。園内の営巣3日目の巣立ち。4年連続だが、今年父鳥とひな2羽が途中で死に、母鳥が残った1羽を育て上げた。同機構によると、「オオタカ生息環境保全委員会」のメンバーらが交代で、高さ7メートルの広葉樹につくられた巣を観察。5月15〜18日に3羽のひなの姿を確認した。

### 父死ぬも、母が育て上げる

大阪府吹田市の万博記念公園で、今年誕生したオオタカのひな1羽が巣立った。公園を運営する独立行政法人・日本万国博覧会記念機構が3日、発表した。園内の営巣3日目の巣立ち。4年連続だが、今年父鳥とひな2羽が途中で死に、母鳥が残った1羽を育て上げた。同機構によると、「オオタカ生息環境保全委員会」のメンバーらが交代で、高さ7メートルの広葉樹につくられた巣を観察。5月15〜18日に3羽のひなの姿を確認した。

### 姿・鳴き声なく「巣立ち」

大阪府吹田市の万博記念公園で、今年誕生したオオタカのひな1羽が巣立った。公園を運営する独立行政法人・日本万国博覧会記念機構が3日、発表した。園内の営巣3日目の巣立ち。4年連続だが、今年父鳥とひな2羽が途中で死に、母鳥が残った1羽を育て上げた。同機構によると、「オオタカ生息環境保全委員会」のメンバーらが交代で、高さ7メートルの広葉樹につくられた巣を観察。5月15〜18日に3羽のひなの姿を確認した。

巣の中で育ち長くなり、6月10日、大阪府吹田市のオオタカ生息環境保全委員会の有賀慶介さん撮影

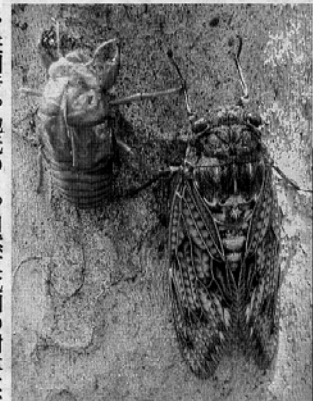
## (3) セミの多様性(100909 読売)

### 万博公園

### アブラゼミ

### 優勢

### 抜け殻数を調査



万博記念公園で最も数が多かったアブラゼミと抜け殻(吹田市で)

6〜8月、来園者や地元の小中学生ら延べ約1000人が約1300枚の調査、日本庭園

や自然文化園の樹木などについていた1万5353個の抜け殻を採集。比率はアブラゼミが72%と最多で、ニイニゼミ15%、クマゼミ12%、ツクツクボウシ1%と続いた。府が2009年に行った府内調査では、クマゼミが75%を占め、アブラゼミは23%、ニイニゼミ、ツクツクボウシは各1%。大阪市内に限定すればクマゼミは9割だった。同機構によると、都市部で

### 都市主流「クマゼミ抑え

### 環境再生「ミン意」多様化

南方系のクマゼミの比率が高い原因として、▽ビルや車からの排熱で気温が上がるヒートアイランド現象▽土壌の硬化や水分低下にクマゼミが適応できている▽ケヤキ類などクマゼミが好む樹種が多い―などが考えられるという。万博記念公園は高速道路などに囲まれ、近くに宅地が広がるが、多様な樹種や落ち葉を積みもせたままの林もあり、クマゼミに偏らないセミが生息できているという。

## (2) モリアオガエルが繁殖(100522 朝日)

### 大阪 市内

OSAKA

大阪本社社会グループ  
06(6231)0131(代)  
大阪支店FAX  
06(6201)3143  
購読のお申し込みは  
0120-33-0845  
(7:00~21:00)  
購読・配達のご用は  
06(6227)0413  
(平日10:00~18:00)  
広告のご用は  
朝日広告社  
06(6206)6961  
朝日エリア・アド  
06(6221)2923  
折り込みは  
朝日オリコミ大販  
06(6226)1290

### 生命つなぐ 白い泡



### 万博公園 モリアオガエル

吹田市の万博記念公園で、府のレッドデータブックで準絶滅危惧種になっているモリアオガエルが産卵を始めた。園内の「ヒートアップの池」の縁石の上では21日、メスの背中に一回り小さい体長5センチほどのオスが乗って、乳白色の泡状の卵塊を後ろの脚で動かしていた。写真。(森嶋俊晴)

公園を運営する独立行政法人・日本万国博覧会記念機構によると、卵塊は11日に初めて確認され、これまでに園内の5カ所で計35個が見つかっている。モリアオガエルは主に木の上で生活し、池の上に落ちた枝や草などに夜間、夏ミカン大の卵塊を産みつける。中には数百個の卵が入っており、卵からかえったオタマジャクシは池に落ちて約1カ月でカエルに成長する。産卵は5月まで続くという。

同公園では1988年に近くの中学校の生徒が25匹のモリアオガエルを園内の池に放し、その子孫が現在も生息している。